



# ☆☆ニュースレター☆☆

第133号  
発行日:2015. 7. 28  
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長: 稲垣 正彦

発行責任者: 事務局長・桑原 正明

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

npo-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX: 043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

## \*事務局から\* 前号第132号発行(5/21)以降の主な催しと活動

- ・5/24(日): 第16回定期総会開催---詳細については「会報」第30号(6/25 発行)参照
- ・6/13(土) & 7/11(土): 第69/70回「仲間と歩こう会」実施---各回29名と32名参加
- ・7/14(日): 防犯部主催による「ユーカーが丘地区自主防犯団体情報交換会」を志津コミセンで開催。21の組織(自治会、PTAなど)から37名が出席し、活発な意見交換が行われました。
- ・7/22(水): 「認知症サポーター養成講座」開催---佐倉市高齢者福祉課主催による講座が本部集会所で開かれ、講師によるレクチャーには20名の会員が出席。
- ・7/25(土)・26(日): 第33回「ユーカー祭り」開催---猛暑・酷暑の中延べ総勢90名の会員がテントの設営から参加。加藤防犯部長の差配で持ち場に分かれて交通整理や入場者の誘導などで汗を流しました。月末更新のホームページで写真集を掲載予定です。



## 会員投寄稿 -35- 「旅あれこれ」 (岩浅 博彰)

旅の手段はいろいろ有りますが、日帰りバスツアーは一名でも参加できて手軽に楽しめるので時々利用しています。選り取り見取りの企画の中から、今回は甲州の猿橋を巡るツアーをチョイス。



日本の「三名橋」と言えば岩国の錦帯橋、長崎の眼鏡橋、お江戸日本橋が夙に有名ですが、日本の「三奇橋」という分類も有って岩国の錦帯橋、木曾のかけはし、甲州の猿橋だそうです。資料の受け売りによると、その由来には矢張り猿が絡んでいる。起源は西暦600年頃、難行していた橋の建設中に、沢山の猿が接ながり合って対岸へ渡って行く姿にヒントを得たとか。橋脚は無く吊り橋

でもなく、兩岸から張り出した刎ね木で支えられている木造橋です。江戸時代は甲州街道であったので当地に立ち寄った安藤広重が浮世絵に残しており、芭蕉の句碑が有ったり、橋のたもとは国定忠治が常宿にしていた大黒屋が今も土産物店を営んでいたり等々、一見の価値が有ります。

近辺には、新撰組の近藤勇が捕らわれて流山へ送られたと云う古戦場や、「心頭を滅却すれば火も自ら涼し」で有名な快川和尚の恵林寺も有って、四脚門や庭園が見所です。

群馬県沼田市の吹割りの滝を巡るツアーも見応えが有りました。V字谷に向かって三方向から河川がごうごうと音をたてて流れ落ちる姿は、やや誇張気味に「東洋のナイアガラ」と呼ばれている。

また県内では鴨川市の大山千枚田が日本千枚田百選にも選ばれていて、春には緑の苗代、秋には黄金色の稲穂、そして稲を刈った後のLEDキャンドルによるライトアップ等々、季節ごとに楽しめます。このように楽しいツアーにも時には失敗も有り、その一つが海鮮浜焼き食べ放題。先ず、魚介類を焼く網が小さいので魚であれば一尾、貝類でも3個位しか載らない。次に、焼き上がるまでに時間が掛かるので、制限時間内に元を取るほど沢山は食べられない。しかし、とにかく旅は楽しい。

ただ残念ながら海外旅行の経験が無く、旅行の目的を国で選ぶか遺跡見物や食べる楽しみにするか、風景の観賞で選ぶか決めかねて、沢山有るツアーを見送っている内に行きそびれてしまいました。そこで、海外は国内47都道府県を制覇後にと云うことにしている。これ迄に公私に亘って46は達成して残すは沖縄県だけなのですが、これがまたなかなか機会を掴めない。暫くは手軽なバスツアーを楽しむことにして、次なる掘り出し物ならぬ行き先を物色中です。(2015-7-18 記)